

第7回北アルプス広域連合一般廃棄物処理施設建設予定地選定会議
次 第

日時：平成24年12月10日(月)
午後2時～午後5時
場所：大北福社会館 大会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 協 議

(1) 絞り込みに必要な情報について

① 概算費用の試算について

資料1

② 学識経験者からの留意点等について

資料2

(休憩)

(2) 地域振興策について

資料3

(3) その他について

4 閉 会

出席者名簿

	氏 名	役職等
選定会議	◎ うし こし とおる 牛 越 徹	広域連合長、大町市長
	おお た ひろ き 太 田 紘 熙	副広域連合長、白馬村長
	まつ もと ひさ し 松 本 久 志	副広域連合長、小谷村長

◎印は議長(一般廃棄物処理施設建設予定地選定会議設置要綱第4条による)

	氏 名	役職等
行政関係	かつの みのる 勝野 稔	大町市民生部参事兼生活環境課長
	まるやま ゆうたろう 丸山 勇太郎	白馬村環境課長
	よこさわ いさお 横澤 勲	小谷村住民福祉課長
	みやさか よしひろ 宮坂 佳宏	北アルプス広域連合所長

概算費用の試算の前提条件について

資料1

比較検討のために、全ての建設候補地において以下の条件をもとにそれぞれの試算を行う。

初期経費

(1)上水道敷設費	<ul style="list-style-type: none"> ・上水道本管から候補地までの敷設費用とする。 ・敷設は現状復旧を原則とする。 ・75mm径のダクタイル鋳鉄管による敷設とする。
(2)アクセス道路等	<ul style="list-style-type: none"> ・道路からの進入地点は付加車線付き交差点とする。 ・進入路は往復2車線とする。 ・橋梁費は道路等に含めるものとする。
(3)用地費	<ul style="list-style-type: none"> ・面積1万㎡を買収すると仮定する。 ・1万㎡の土地造成に必要な法面を含む用地面積で試算。(11/28追加) ・固定資産税の宅地評価は、時価(鑑定価格)の70%とされている。 ・各候補地が所在する固定資産税における宅地評価での、状況類似区分地区内の標準宅地の固定資産税評価額から70%を逆算して試算する。 ・試算結果に大きな乖離がある場合、近傍宅地の評価額により試算する。(11/28追加)
(4)土地造成費	<ul style="list-style-type: none"> ・単純矩形1面による1万㎡の造成面とする。 ・造成は土工を原則とする。 ・盛土法面及び切土法面は緑化する。 ・造成費には外構工事を含める。 ・掘削、盛土の多い場合は、2面造成の有効性も検討する。(11/27追加)
(5)電力の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・高圧電力を引き込みした場合の費用。(11/27追加)

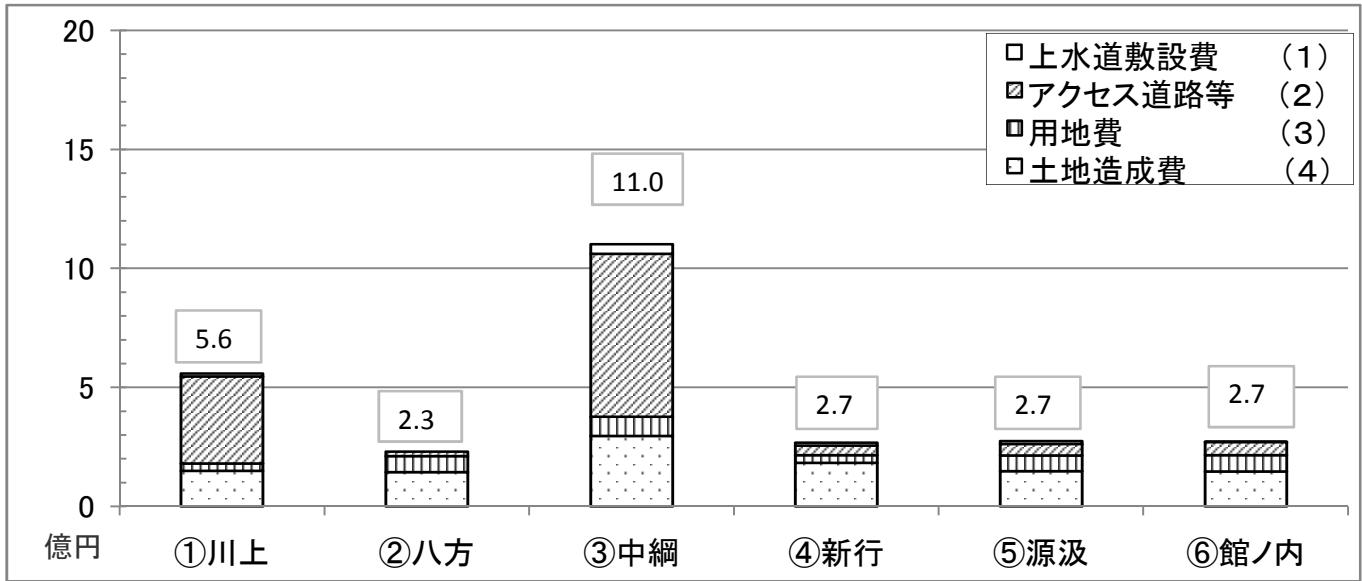
運営経費(20年間)

[1]用地賃借料	<ul style="list-style-type: none"> ・用地費で求めた固定資産税評価額から試算。(11/15追加) ・1万㎡の土地造成に必要な法面を含む用地面積で試算。(11/28追加) ・試算結果に大きな乖離がある場合、近傍宅地の評価額により試算する。(11/28追加)
[2]収集運搬費	<ul style="list-style-type: none"> ・収集運搬割合を70%と仮定する。 ・起点を大町市役所、八坂・美麻支所、白馬村役場、小谷村役場、終点を各候補地とし、起点から終点までの距離をもとに試算する。 ・現状の収集運搬経費と大きな乖離があるため、実績をもとに有効積載量、集積所間の移動距離などの条件を見直して試算。(12/10追加)

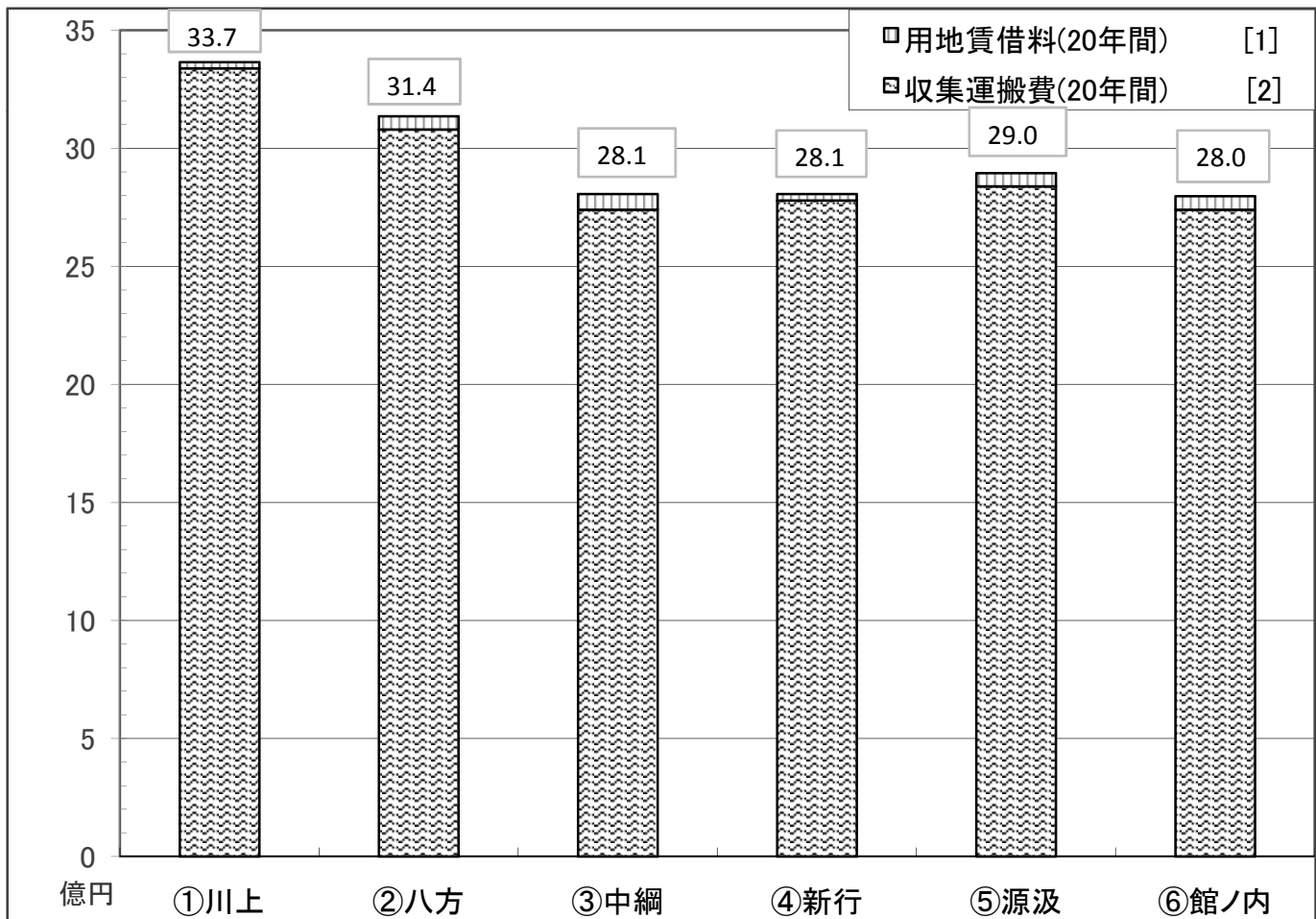
概算費用の試算について

資料 1

1 初期経費の比較 (その2)



2 運営経費の比較 (その2)



■第4回選定会議(11月15日)からの変更点

- 1 用地費及び用地賃借料については、1万㎡の土地造成に必要な法面を含む用地面積で試算。
なお、②八方については、従前の試算結果と実勢価格に大きな乖離があるため、近傍宅地の評価額から試算。
 - 2 収集運搬費については、現状の経費と大きな乖離があるため、実績をもとに条件を見直して試算。
- ※比較のための前提条件に基づく試算結果であり、現時点では内容が確定していないため、内訳等については、非公開とします。

学識経験者からの留意点等について

資料 2

分野	項目		建設候補地						助言いただいた学識経験者	
			①川上	②八方	③中綱	④新行	⑤源汲	⑥館ノ内		
防災	地形地質	活断層	変位の影響は受けない	近接するため注意が必要	近接するため注意が必要	変位の影響は受けない	変位の影響は受けない	候補地内を活断層が通る可能性あり	廣内氏 【確認済】	
		強震動 注1	強い揺れの可能性あり (震度6以上)	極めて強い揺れの可能性あり (震度6強から7程度)	極めて強い揺れの可能性あり (震度6強から7程度)	強い揺れの可能性あり (震度6以上)	強い揺れの可能性あり (震度6以上)	極めて強い揺れの可能性あり (震度6強から7程度)		
		斜面災害 ※1	土砂災害警戒区域にあたる	影響は少ない	影響を受ける可能性あり	影響は少ない	影響は少ない	影響は少ない		
	水害等	水害の可能性	低い	低い	低い	低い	洪水時に可能性あり (湛水深2~5m)※2	洪水時に可能性あり (湛水深0.5m未満)		
		災害履歴等 (市村への照会結果)	なし	なし	なし	なし	なし	なし		
自然環境	絶滅危惧種・希少動植物	候補地内の猛禽類の古巣の有無	なし	なし	なし	なし	なし	なし	杉本氏 【確認済】	
		猛禽類の利用状況 (現地確認による推定) 注2	候補地内	餌場	餌場、休息場所	餌場、休息場所	餌場	餌場、休息場所		餌場
			周辺部 (500m範囲内)	営巣可能な環境	営巣可能な環境	営巣可能な環境	営巣可能な環境・利用頻度が高い生活環境	営巣可能な環境		餌場環境のみ
		動物(猛禽類以外)への配慮			・農具川の改変に配慮 ・山域間の回廊に配慮	・水辺、湿地環境があり、希少生物の生息に注意	川沿いの回廊に配慮			
	希少植物 (現地確認による推定)	生育しないと思われる	湿性植物に配慮が必要	生育しないと思われる	湿性植物に配慮が必要	生育しないと思われる	生育しない	土田氏 【確認済】		
文化財保護	埋蔵文化財	埋蔵文化財包蔵地の有無 (詳細分布図・包蔵地図等で確認)	なし	なし	なし	なし	なし	なし		
施設整備	施設整備全般	施設整備全般に関する留意事項 注3	狭隘地形に鑑み排ガス拡散に係る検討(風洞実験など)が必要		・狭隘地形に鑑み排ガス拡散に係る検討(風洞実験など)が必要 ・アクセス道路建設上の制約			速水氏 【確認済】		
その他			河川区域の払い下げ手続きが必要							

(補足事項)

学識経験者に確認したもの	注1 括弧内の震度は、糸魚川静岡構造線の活動時に想定されるマグニチュード8クラスの地震が起きた場合に被る可能性のある震度を表す。
	注2 猛禽類への影響から、営巣可能な環境(営巣地)＞餌場＞休息場所の順で保全を行うことが望ましい。(生活環境とは、餌場、休息場所等を表す。)
	注3 一般廃棄物処理施設については、「官庁施設の総合耐震計画基準」(国土交通省)により、大規模地震後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて機能確保が図られるよう、一般の官公庁施設の1.25倍の耐震強度(建築基準法施行令で定める構造計算による数値)で設計、施工されている。 (東日本大震災の被災地において、一般廃棄物処理施設が倒壊した事例はない。)
広域連合で確認したもの	※1 土砂災害特別警戒区域については、法的規制に係る項目として推薦条件の中で各市村及び広域連合において確認している。
	※2 ハザードマップでは湛水深2~5mのエリアに含まれているが、堤防と堤内地の比高差から約2.7mと想定される。